

平成30年度

第1回 帯広市地域公共交通活性化協議会 次第

日 時：平成30年6月5日（火）9時30分～

場 所：帯広市役所 10階 第5B会議室

1 開 会

2 議 事

報告事項

- (1) 平成29年度事業報告について
- (2) 平成29年度決算報告について
- (3) 平成29年度監査報告について

協議事項

- (1) 帯広市地域公共交通網形成計画に基づく事業の実施状況について
- (2) 平成30年度事業計画（案）について
- (3) 平成30年度収支予算（案）について

3 閉 会

※ 配付資料

- 資料1 委員名簿
- 資料2 平成29年度事業報告
- 資料3 平成29年度収支決算書
- 資料4 会計監査報告書
- 資料5 平成29年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の取組内容について
- 資料6 帯広市地域公共交通網形成計画 評価指標達成状況
- 資料7 帯広市地域公共交通網形成計画 事業スケジュール・進捗状況一覧表
- 資料8 平成30年度帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の推進について（案）
- 資料9 平成30年度事業計画（案）
- 資料10 平成30年度収支予算書（案）

平成30年度 帯広市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

所 属	職 名	氏 名	出 欠
十勝バス株式会社	取締役執行役員 事業本部長	長沢 敏彦	出席
北海道拓殖バス株式会社	業務部長	小森 明仁	出席
毎日交通株式会社	専務取締役	千葉 和也	出席
大正交通有限会社	代表取締役	道見 茂美	出席
十勝地区バス協会	事務局	若森 克芳	出席
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	議長代行	久保 真司	欠席
十勝地区ハイヤー協会	常務理事	塚本 俊二	出席
帯広市町内会連合会	副会長	齊藤 雅俊	出席
北海道運輸局帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	笹治 忍	出席
北海道十勝総合振興局	地域政策課長	小林 達也	代理出席 主査 松田 泰弥
帯広開発建設部道路計画課	道路計画課長	西山 泰幸	代理出席 上席道路計画専門官 川村 達也
帯広警察署交通第一課	課長	高木 健康	出席
帯広市 政策推進部企画課	課長	石井 健一	出席
帯広市 市民環境部環境都市推進課	環境担当調整監	榎本 泰欣	出席
帯広市 保健福祉部高齢者福祉課	課長	五十嵐 ゆかり	出席
帯広市 商工観光部観光課	課長	大林 健一	出席
帯広市 都市建設部都市計画課	課長	大橋 貴	出席
帯広市教育委員会 学校教育部企画総務課	課長	佐藤 克己	出席
帯広市 商工観光部	部長	相澤 充	出席
事務局 (帯広市 商工観光部 商業まちづくり課)	まちづくり担当調整監	吉田 誠	出席
	課長補佐	村井 和徳	出席
	経営支援係長	中田 英二	出席
	主任補	屋仲 聡一郎	出席

平成29年度 事業報告

平成29年

6月12日 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請

6月13日 平成29年度第1回協議会開催

- ・平成28年度事業報告・決算報告・監査報告
- ・平成29年度事業計画（案）・収支予算（案）
- ・帯広市地域公共交通網形成計画に基づく事業について

平成30年

1月中旬～ 「おびひろバスマップ」作成
バス事業者・市内コミセン等へ配布

1月17日 平成29年度第2回協議会開催（書面会議）
・地域公共交通確保維持改善事業 事業評価（案）について

2月中旬～ 中高生向けモビリティ・マネジメント（MM）小冊子作成
市内中学3年生及び高校1年生へ配布

3月上旬～ 転入者向けMM小冊子作成
戸籍住民課窓口にて配布

平成29年度 収支決算書

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
補助金	298,000	285,324	△ 12,676	地域公共交通確保 維持改善事業費 補助金
負担金	344,000	344,000	0	バス事業者負担金 150,000円 帯広市負担金 194,000円
計	642,000	629,324	△ 12,676	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
事業費	598,000	571,782	△ 26,218	バスマップ作成委託 料
	44,000	40,605	△ 3,395	公共交通利用促進 小冊子作成 消耗品費
計	642,000	612,387	△ 29,613	

収入額 629,324円 - 支出額 612,387円 = 繰越額 16,937円

会 計 監 査 報 告 書

平成29年度帯広市地域公共交通活性化協議会の会計について、
関係帳簿及び収入・支出証書の監査を行った結果、その処理が
いずれも適正であることを認めます。

平成30年5月31日

監査委員 北海道十勝総合振興局 地域創生部

地域政策課長 小林 達也



平成29年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の取組内容について

基本方針1 公共交通のサービスレベル向上

1. 市内バス路線及びダイヤの見直し

▶十勝バス株式会社**① 畜大線【経路・ダイヤ変更】**

- ・市民要望への対応及び緑ヶ丘公園周辺地域の新たな需要創出を目的として、高齢者・障がい者・福祉団体等の活動拠点であるグリーンプラザを経由する路線変更と、これに伴うダイヤ変更を実施。

② 上士幌・ぬかびら線【経路・ダイヤ変更】

- ・平成30年4月1日に供用開始した上士幌町バスターミナルへの入り込みにかかる経路変更を実施。併せて、十勝バス上士幌営業所敷地内への入り込みの廃止、一般道へのバス停「上士幌営業所前」新設、ダイヤの調整を実施。

▶北海道拓殖バス株式会社**③ 運転免許試験場線【路線統廃合・ダイヤ変更】**

- ・運送の効率化を図るため、柏林台駅前経由便を廃止し、協立病院経由便に統合。

2. 定時性の確保等に向けた取り組み

▶十勝バス株式会社

- ・冬期間、運行の支障となる降雪がある度に、運行経路上の除雪等を道路管理者に要望。

▶北海道拓殖バス株式会社

- ・大幅な遅延が発生するおそれがある場合、途中停留所から代替便を出して対応。

3. バス待合環境の改善に向けた取り組み

▶十勝バス株式会社

- ・イオン帯広店と連携し店舗内にバス待合スペースを設置したほか、マックスバリュ店舗内においてバス待合が可能である旨の掲示物設置について協議中。

4. 帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策

- ・地方創生拠点整備交付金を活用し、バス待合機能に加え、十勝・帯広の観光情報提供機能を併せ持った施設「バスターミナルおびくる」への建替えを実施。平成30年3月完成。

5. ICカードシステム導入に向けた実証試験の検討

▶十勝バス株式会社

- ・イオン北海道株式会社と連携し、商業系電子マネー（WAONカード）を利用した運賃決済システムの実証試験の実施に向けて検討。

基本方針2 生活と交通の拠点の整備

1. 乗り継ぎ拠点の設置検討

- ・平成 28 年度より、大型商業店舗等における乗り継ぎについて、路線の見直しや待合環境の整備等を検討。

2. デマンド型交通の利便性向上及び市街地における導入検討

① あいのりタクシー（大正地区）・あいのりバス（川西地区）

- ・平成 29 年 10 月にインターネット予約サイトを開設、運用開始。

② 市内バス路線

- ・デマンド型運行便（運転免許試験場線（運転免許試験場発の便）、東 8 条線（一部停留所への迂回ルートデマンド型））について、継続して運行実施。

3. 多様な移動手段との連携の検討

- ・十勝圏二次交通活性化協議会において、観光面におけるバスとタクシーが連携したサービスの提供を継続して検討・実施。
- ・十勝バス株式会社「年末深夜バス」において、タクシー乗り継ぎによる連携を実施。

基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施

1. バスロケーションシステム等の普及

- ・現在、市内を運行するすべての路線でバスロケーションシステムを利用可能。多言語化にも対応。

2. 「おびひろバスマップ」の更新

- ・平成 23 年度に作成した、路線バスを利用する上で基本的な情報となるバス路線や運賃、支払方法などを掲載している「おびひろバスマップ」について、情報面及びマップ面の掲載内容を更新したバスマップを作成。
- ・作成したバスマップは、帯広駅前バス待合所や市内コミセン、バス車内等での配布を実施したほか、中高生及び転入者向けモビリティ・マネジメント（MM）用小冊子と併せて配布。

3. 分かりやすい時刻表の作成

▶北海道拓殖バス株式会社

- ・平成 29 年 4 月、6 エリアに色分けし、バスロケーションシステムの表示とも連動させた時刻表・路線図を作成。

4. 情報提供機能の充実

- ・「バスターミナルおびくる」に設置するデジタルサイネージによる情報提供内容について検討を実施。

5. 外国人観光客向けの案内表示の整備

▶十勝バス株式会社

- ・多言語対応のバス停の設置（78箇所）や、バス車外放送の外国語案内を追加（8系統）。

▶北海道拓殖バス株式会社

- ・一部の路線で、バス停留所の停留所名に英語表記を併記。

▶共通事項

- ・インバウンド観光対応の問題点や課題を抽出、今後の対応方法について検討。

6. 企画乗車券（バスパック等）の利用促進

- ・バス事業者ホームページや帯広駅前バス待合所等において、バスパック等のPRを実施。

基本方針4 利用促進施策の推進

1. モビリティ・マネジメント施策の展開

【小学生向け】

- ・平成19年度から小学校における交通環境学習として実施している行政、バス事業者等による出前講座「交通環境学習」を継続して実施。市内小学校8校で12回開催、770名の児童が受講した。

【中学生向け】

- ・高校、専門学校等に進学する市内の中学3年生（14校、約1,380名）を対象に、路線バスの利用方法や自宅から進学先までの公共交通での通学方法、環境問題を始めとする動機付け情報として小冊子を作成、配布し、高校通学時におけるバス利用の促進を図った。

【高校生向け】

- ・市内の高校に進学する高校1年生（8校、約1,660名）を対象に、路線バスの利用方法や環境問題を始めとする動機付け情報として小冊子を作成、提供し、通学時におけるバス利用の促進を図った。

【転入者向け】

- ・市内転入者へ向けて、バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報として小冊子を作成、配布し、通勤や日常生活におけるバス利用の促進を図った。

【高齢者向け】

- ・環境面だけでなく、健康、安全、費用などの面から公共交通への理解を深め、自発的な交通手段転換を促す出前講座について、「帯広市高齢者学級」を対象として実施。58名が受講した。

帯広市地域公共交通網形成計画 評価指標達成状況

基本方針 1 公共交通のサービスレベル向上							
(1) 路線バス利用者数							
把握する指標	市内完結路線における路線バス年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値(人)	-	-	3,369,900	3,389,900	3,410,000	3,430,200	3,450,600
実績値(人)	3,350,075	3,356,486	3,379,745	-	-	-	-
達成率	-	-	100.3%	-	-	-	-
(2) 公共交通での通学者数							
把握する指標	通学定期券年間販売数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値(人)	-	-	12,230	12,303	12,376	12,449	12,523
実績値(人)	12,158	11,373	10,884	-	-	-	-
達成率	-	-	89.0%	-	-	-	-
基本方針 2 生活と交通の拠点の整備							
(3) デマンド型交通利用者数							
把握する指標	あいのりタクシー及びあいのりバスの年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値(人)	-	-	16,510	16,510	16,510	16,510	16,510
実績値(人)	16,504	16,988	17,136	-	-	-	-
達成率	-	-	103.8%	-	-	-	-
基本方針 3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施							
(4) 路線バスの観光目的利用者数							
把握する指標	バスパック年間利用者数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値(人)	-	-	5,795	6,095	6,395	6,695	6,995
実績値(人)	5,195	5,414	6,573	-	-	-	-
達成率	-	-	113.4%	-	-	-	-
(5) 訪日外国人の路線バス利用者数							
把握する指標	パスロケーションシステムの外国語表示閲覧数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値(ビュー)	-	-	1,800	3,600	5,400	7,200	9,000
実績値(ビュー)	-	-	1,130	-	-	-	-
達成率	-	-	62.8%	-	-	-	-
基本方針 4 利用促進施策の推進							
(6) 高齢者の路線バス利用者数							
把握する指標	70歳以上の路線バス利用者数(高齢者おでかけサポートバス年間利用者数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値(人)	-	-	964,385	973,841	983,391	993,034	1,002,800
実績値(人)	955,020	921,331	942,181	-	-	-	-
達成率	-	-	97.7%	-	-	-	-
(7) ノーカーデー参加者数							
把握する指標	ノーカーデー年間参加者数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
目標値(人)	-	-	6,210	6,240	6,280	6,320	6,350
実績値(人)	6,169	5,906	6,276	-	-	-	-
達成率	-	-	101.1%	-	-	-	-

帯広市地域公共交通網形成計画 事業スケジュール・進捗状況一覧表

平成30年6月現在

基本方針	施策項目	施策メニュー	実施主体	事業スケジュール・進捗状況					
				H29	H30	H31	H32	H33	
(1) 公共交通のサービスレベルの向上	利用実態やニーズを踏まえた効率的な路線の再編とダイヤの見直し	バス路線の再編 バスダイヤの見直し	交通事業者	・見直し内容検討 ・一部見直し実施	・見直し内容検討 ・見直し実施(厚生 病院移転関連中心)	・状況に即した路線・ダイヤ見直し検討、随時実施			
	定時性の確保等	定時性の確保等に向けた検討	交通事業者、帯広市	・状況に応じた対応 実施(除雪・増便)	・遅延状況の把握、対応策の検討・実施				
	待合環境の改善	待合環境の改善	待合環境の改善に向けた検討	交通事業者、帯広市	・実施(イオン店舗内 待合スペース)	・内容拡充の検討・実施			
		帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策	帯広市、交通事業者	・「バスターミナルおびくる」整備【H29完了】					
新しい運賃制度の検討	ICカードシステム導入の検討	交通事業者	・商業系電子マネーに よる決済システム導入 実証試験準備	・実証試験開始	・普及拡大検討・実施				
(2) 生活と交通の拠点の整備	生活交通の確保	乗り継ぎ拠点の設置	交通事業者、帯広市	・拠点候補施設への 設置検討(H28~)	・拠点候補施設との調整・設置内容の検討 ⇒ 運用開始				
		デマンド型交通の利便性向上	帯広市、交通事業者	・あいのりインターネット 予約開始	・既存デマンド型運行の改善 ・市街地における新規導入の検討				
		多様な移動手段の連携による利便性向上	交通事業者	・観光等でのバス・タ クシ連携実施	・生活交通における連携方法の検討 ⇒ 運用開始				
(3) 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施	交通情報発信の機能充実	バスロケーションシステムの導入	交通事業者	(H28~バスロケーションシステム「PINA」、乗り換え情報案内システム「もいく」導入) ・システム内容改善の検討、実施 ・システムの普及拡大、利用促進					
	バス利用の基本情報の提供	分かりやすいバスマップの作成 (継続)	帯広市、交通事業者	・「おびひろバスマ ップ」更新・配布	・リニューアル版「おびひろバスマップ」作成・配布【H30完了】				
		分かりやすい時刻表の作成	交通事業者	・作成、配布	・内容改善(随時) ⇒ 更新、配布				
		施設ごとの情報提供機能の充実	交通事業者	・内容検討	・おびくるデジタルサイ ネージ、AI窓口設置	・情報提供手段、内容の拡充(随時)			
	インバウンド観光への対応	外国人観光客に分かりやすい案内表示の整備	交通事業者	・一部バス停留所の 多言語化対応	・バス停留所多言語化対応(継続) ・インバウンド観光対応の検討、随時実施				
企画乗車券(バスパック等)の利用促進 (継続)		交通事業者	・事業者HP、バス待合所等でのPR・利用促進(継続)						
(4) 利用促進施策の推進	モビリティ・マネジメント(MM) 施策の展開	小学生向けMMの実施 (継続)	帯広市、交通事業者	・出前講座「交通環境学習」の実施(継続)					
		中学生向けMMの実施	帯広市、交通事業者	・バス利用動機付け ツール(小冊子)作成・ 配布	・ツール内容改善、配布				
		高校生向けMMの実施	帯広市、交通事業者	・バス利用動機付け ツール(小冊子)作成・ 配布	・ツール内容改善、配布				
		住民向けMMの実施	帯広市、交通事業者	・転入者向けバス利 用動機付けツール(小 冊子)作成・配布	・ツール内容改善、配布				
		高齢者向けMMの実施 (継続)	帯広市、交通事業者	・高齢者学級出前講座の実施(継続)					
		ノーカーダーの取組 (継続)	帯広市、交通事業者	・取組の継続実施、普及啓発(継続)					

平成30年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の推進（案）について

基本方針1 公共交通のサービスレベルの向上

1. 市内バス路線及びダイヤの見直し

▶十勝バス株式会社

(1)南商・あかしや線（経路・ダイヤ変更）

- ・地域住民からの強い要望を受け、平成30年5月21日に中島通（アルバータ通）から西側に迂回し、住宅街の道路を通過する路線変更と、これに伴うダイヤ調整を実施済。

(2)十勝川温泉線（ダイヤ変更）

- ・下士幌小学校の登校時間変更に合わせて、7時台発の2便のダイヤをそれぞれ5分早めるダイヤ変更を実施済。

(3)上士幌・ぬかびら線（ダイヤ変更）

- ・空港連絡バスとの接続に余裕を持たせるため、利用頻度の高い便のダイヤ調整を実施済。

(4)東8条線

- ・全体的な見直しについて検討中。

◆H30.11 帯広厚生病院の移転に伴う路線変更について

▶十勝バス株式会社

▶ 芽室線、帯広・陸別線、幕別線、東西循環線、西地区コミュニティバス

- ・帯広厚生病院開院に合わせて、病院構内への入り込みを実施予定。
- ・現在の厚生病院前を経由する路線の経路変更については、病院移転後の跡地利用等、今後の状況を判断の上、実施内容を検討中。

▶北海道拓殖バス株式会社

▶ 中鈴蘭循環線、南商業高校線、療養所線、帯広の森・白樺学園線

- ・現在の帯広厚生病院を経由する路線の経路変更について、病院移転後の跡地利用等、今後の状況を判断の上、実施内容を検討中。
- ・なお、新厚生病院移転後の路線について、市民から対応を求める要望があることから、利用客の利便性を考慮して対応を検討。

▶あいのりタクシー（大正地区）・あいのりバス（川西地区）

- ・新厚生病院開院に合わせて、市内運行経路の変更（新病院までの延伸）を実施予定。

2. 定時性の確保等に向けた取り組み

- ・引き続き、冬期間の道路管理者への除雪等対策の要望や、遅延発生路線への代替便による対応を実施。

3. バス待合環境の改善に向けた取り組み

▶十勝バス株式会社

- ・イオン帯広店店舗内のバス待合スペースへのデジタルサイネージ設置・バスロケーションシステムの導入について、7月頃までに実施予定。
- ・広告会社と連携し、今秋、イオン帯広店、大谷高校前、北高・北斗病院前のバス停留所に上屋を設置予定。また、帯広駅バスターミナルのりばにおいて、14箇所にて3人掛けの椅子を設置予定。
- ・マックスバリュ店舗等への案内表示について、継続して協議を実施。

4. ICカードシステム導入に向けた実証試験の実施

▶十勝バス株式会社

- ・平成30年5月21日より、「西地区コミュニティバス」(定額運賃路線)においてWAONカードを利用した運賃決済システムの実証試験を開始。10月には、さらに市内路線1系統(多区間運賃路線)での実証試験を実施予定。
バス利用者の利便性向上はもとより、公共交通機関を利用した商業施設等への外出を促進し、バス利用者の増加と地域活性化を図る。

基本方針2 生活と交通の拠点の整備

1. 乗り継ぎ拠点の設置検討

- ・商業施設や学校が集積している地区等における円滑な乗り継ぎを目指して、路線・ダイヤの見直し検討や待合環境の整備について、引き続き検討及び商業施設等との協議を実施する。

2. デマンド型交通の利便性向上及び市街地における導入検討

- ・あいのりタクシー、あいのりバスについて、帯広厚生病院の移転に伴う利用者ニーズに対応するため、乗降場所の新設を実施予定。(再掲)
- ・市街地における路線運行が非効率と考えられる地区におけるデマンド型交通の導入について、地域のニーズの把握や、実施可能性の調査について検討する。

3. 多様な移動手段との連携の検討

- ・生活交通の利便性向上に向けた、タクシーや自転車との連携方法について、他都市の事例等の情報収集や検討を行う。

基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施

1. バスロケーションシステム等の普及

- ・平成 29 年度に引き続き、バスロケーションシステム「PINA」や乗り換え情報案内アプリ「もくいく」の普及活動・情報提供を実施するとともに、一層の利便性の向上について検討、随時実施する。

2. リニューアル版「おびひろバスマップ」の作成・配布《協議会事業》

- ・路線バスを利用する上で基本的な情報となるバス路線や運賃、支払方法などを掲載している「おびひろバスマップ」について、平成 30 年 11 月の帯広厚生病院移転に伴う市内バス路線の見直し等を反映させるとともに、デザインやレイアウト等を一新させ、市民はもとより来街者にも分かりやすく、路線バスに親しみを持ってもらえるようなリニューアル版「おびひろバスマップ」を作成する。
- ・作成したバスマップは、広報おびひろへの折込みによる市内全戸配布のほか、バスターミナルおびくるや市内コミセン、バス車内等での配布を実施する。

3. 分かりやすい時刻表の作成

▶十勝バス株式会社

- ・平成 30 年 11 月にリニューアル予定。

▶北海道拓殖バス株式会社

- ・平成 29 年度に引き続き、系統図を充実させた時刻表を作成予定。

4. 情報提供機能の充実

- ・「バスターミナルおびくる」にデジタルサイネージを設置し、静止画及び動画での各種情報提供を実施。今後、内容の充実を図る。
- ・平成 30 年 7 月に AI 窓口を開設、主にインバウンド観光客の対応窓口として情報提供機能を充実させる予定。

5. 外国人観光客向けの案内表示の整備

- ・市内線バス停留所の改修に合わせて、随時バス停留所の外国語対応を実施予定。
- ・平成 29 年度に十勝圏二次交通活性化推進協議会において協議したインバウンド観光対応の問題点や課題について、随時対応予定。

6. 企画乗車券（バスパック等）の利用促進

- ・引き続き、バス事業者ホームページやバスターミナルおびくる等において、バスパック等の PR を実施。

基本方針4 利用促進施策の推進

1. モビリティ・マネジメント施策の展開

【小学生向け】

- ・平成19年度から小学校における交通環境学習として実施している行政、バス事業者等による出前講座「交通環境学習」について、今年度も継続して実施する。

【中学生向け】《協議会事業》

- ・高校、専門学校等に進学する市内の中学3年生を対象に、路線バスの利用方法や自宅から進学先までの公共交通での通学方法、環境問題を始めとする動機付け情報として、平成29年度に作成した小冊子の内容改善を図りながら、引き続き作成、提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。

【高校生向け】《協議会事業》

- ・市内の高校に進学する高校生を対象に、路線バスの利用方法や環境問題を始めとする動機付け情報として平成29年度に作成した小冊子の内容改善を図りながら、引き続き作成、提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。

【転入者向け】《協議会事業》

- ・市内転入者へ向けて、バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報として平成29年度に作成した小冊子の内容改善を図りながら、引き続き作成、配布し、通勤や日常生活におけるバス利用の促進を図る。

【高齢者向け】

- ・環境面だけでなく、健康、安全、費用の面から公共交通の理解を深め、自発的な交通手段転換を促す出前講座について、「帯広市高齢者学級」を対象に、今後も継続して実施する。

平成30年度 事業計画（案）

1 リニューアル版「おびひろバスマップ」の作成・配布

- ・路線バスを利用する上で基本的な情報となるバス路線や運賃、支払方法などを掲載している「おびひろバスマップ」について、平成30年11月の帯広厚生病院移転に伴う市内バス路線の見直し等を反映させるとともに、デザインやレイアウト等を一新させ、市民はもとより来街者にも分かりやすく、路線バスに親しみを持ってもらえるようなリニューアル版「おびひろバスマップ」を作成する。
- ・作成したバスマップは、広報おびひろへの折込みによる市内全戸配布のほか、バスターミナルおびくるや市内コミセン、バス車内等での配布を実施する。

2 モビリティ・マネジメント施策の展開

【中学生向け】

- ・高校、専門学校等に進学する市内の中学3年生を対象に、路線バスの利用方法や自宅から進学先までの公共交通での通学方法、環境問題を始めとする動機付け情報として、平成29年度に作成した小冊子の内容改善を図りながら、引き続き作成、提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。

【高校生向け】

- ・市内の高校に進学する高校生を対象に、路線バスの利用方法や環境問題を始めとする動機付け情報として平成29年度に作成した小冊子の内容改善を図りながら、引き続き作成、提供し、通学におけるバス利用の促進を図る。

【転入者向け】

- ・市内転入者へ向けて、バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報として平成29年度に作成した小冊子の内容改善を図りながら、引き続き作成、配布し、通勤や日常生活におけるバス利用の促進を図る。

平成30年度 収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
補助金	298,000	1,194,000	896,000	地域公共交通確保 維持改善事業費 補助金
負担金	344,000	1,982,000	1,638,000	バス事業者負担金 989,000円 帯広市負担金 993,000円
雑入	0	16,937	16,937	前年度繰越金 16,937円
計	642,000	3,192,937	2,550,937	

支出の部

(単位:円)

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
事業費	598,000	2,866,320	2,268,320	バスマップ作成委託料
	0	251,262	251,262	バスマップ作成委託料 広報折込・配布手数料
	44,000	48,168	4,168	公共交通利用促進 小冊子作成用紙代
事務費	0	27,187	27,187	消耗品費 振込手数料等
計	642,000	3,192,937	2,550,937	